

令和7年度 第2回 笠井小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年10月10日（金）9時00分から11時10分まで
- 2 開催場所 笠井小学校 2F 会議室
- 3 出席委員 松本久和 森下律子、市川規子、石神好洋、佐藤剛、高林直子、浅野佑一、川本博之
- 4 オブザーバー 鈴木真人（市議会議員）、小林剛（笠井協働センター）
- 5 学校 伊藤美香（校長）、高林督（教頭）、氏原志穂（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 氏原志穂
- 8 議長の選出

司会から、事前選出において、松本委員に御推挙いただいた旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

9 協議事項

「かんがえ合う子」の育成について

10 会議記録

司会の高林（教頭）から、委員総数8人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

司会を高林（教頭）から松本委員へ交代

委員の皆さんには、6年2組算数、5年2組体育、4年3組理科の授業参観後熟議していただいた。

「かんがえ合う子」の育成について

・子供たちも先生も一生懸命に学習に取り組む姿が見られた。

（松本委員、市川委員、高林委員）

・体育の学習ではホワイトボードを使用して、屋外でも今日の目当てや、振り返りポイントが見えるようにしていた。どの授業も目当てや、目標が明確になっているので目的を持って学習に取り組めていた。

（森下委員、佐藤委員、浅野委員、）

・理科の実験では、粒の大きさと水の染み込みの関係を調べていたが、容器や粒の違う土壤が用意されており、他のクラスでも先生が授業の準備段階から一生懸命に取り組んでいると感じた。 （高林委員、浅野委員）

・算数は反比例の学習していた。黒板だけでなくテレビ画面とタブレットを連動

して子供たちに分かりやすく説明していた。子供たちも集中して学習に取り組んでいた。
(松本委員、市川委員、川本委員)

- ・先生と子供たちの寄り添い方が良かった。時にはヒントを時には自分で考えるよう言葉掛けをしていて「かんがえ合う子」の粘り強く考えるが生きていると感じた。
(松本委員、市川委員)
- ・学校が楽しくあってほしいと願う。「楽しい、分かった、知りたい」と子供の表情からも見てとれた。
(森下委員、高林委員)

- ・友達との関わりを持ちながら、口調も柔らかく温かい会話をしていたのが良かった。
(石神委員、高林委員)

- ・グループ内で助け合い役割分担ができていて、男女関係なく友達と協力しながら学習している姿が良かった。
(森下委員、市川委員、佐藤委員)

- ・実験の結果をタブレットで撮影するのは後で見直す事が出来て良いと感じた。
(森下委員、川本委員)

- ・体育の授業では、ソフトボールを行っていたが、チームで戦略を考え、今日のプレイや戦略を振り返り、発表することで共有して次回の学習に繋げられるようにしているが素晴らしい。
(市川委員、石神委員、)

- ・どの授業でも目当てがあり、見通しを持ち学習に取り組み振り返り次に活かすように授業が組み立ててあると感じた。子供の頃から身に付けられると社会に出た時にも目的を持ち、見通し、考える力が役立つだろう。

(森下委員、石神委員、浅野委員、)

11 連絡事項

次回は令和 8 年 2 月 20 日（金）9 時 00 分～11 時 00 分

- ・学校関係者評価
- ・学校運営協議会自己評価
- ・来年度の基本の方針